

第17回バックエンド部会総会議事録:(2002/04/12)

1. 日 時 平成14年3月29日(金) 12:00~12:45

2. 場 所 日本原子力学会「2002年春の大会」K会場 (神戸商船大学)

3. 議 題

(1) 部会長挨拶

(2) 13年度活動報告と14年度活動方針

- 海外発表支援制度
- 研究会支援制度
- 夏季セミナー
- 部会誌 (バックエンド研究)
- 会計報告
- 次期運営委員選挙の結果
- その他

(3) 次期部会長の挨拶と14年度運営委員の紹介

4. 議事録

(1) 駒田部会長が開会挨拶。

(2) 13年度活動報告と14年度活動方針

○ 庶務担当より、海外発表支援制度及び研究会支援制度について報告がなされた。13年度の支援実績(両制度とも3件ずつ)が紹介され、海外発表支援制度の支援対象資格を広げる方向で運営委員会での検討が進んでおり、13年度下期の応募が少なかったことから14年度は支援制度のPR強化を予定していることが報告された。研究会支援制度については、運営委員会での検討の結果、1件あたりの支援を50万円までとすることや募集要項の修正を行う予定であることが報告された。

○ 事務局より夏季セミナーに関する検討状況が報告された。セミナーの内容については今後運営委員で検討を続けるが、「議論の部屋」での意見募集も継続すること、暫定的ではあるが、8月1日~2日に新潟で開催することを考えている旨の報告があった。これに対して、以下のコメントがあった。

・ 学生にとってセミナー参加は良い経験になるが、現状は講演が中心でセミナーの本来の役割を果たしていないのではないかと。セミナーを教育の場としてとらえ内容を検討しても良いのではないかと。

・ 開催時期としてはお盆の後の方がよい。

○ 出版担当より、部会誌(バックエンド研究)については、現在Vol.8, No.2の発行を準備していること、次のVol.9, No.2では「腐食物質と微生物」の特集を予定しており関連する論文を募集(5月末締切)している旨の報告があった。

○ 会計担当より、13年度の部会収支決算(案)及び14年度の部会予算(案)が報告され、両案とも承認された。なお、以下のコメントがあった。

・ 収支決算項目にある「オフコン管理費」に関しては明確な説明を学会に求めるべきである。

- ・ 部会予算を維持確保するため、今後の事業展開を検討すべきである。
- ・ わかりやすいバランスの表にしてほしい。
- 次期運営委員選挙の結果について、選挙管理委員から全員信任された旨の報告がなされた。

(3) 次期部会長の挨拶と14年度運営委員の紹介

- 朽山次期部会長の挨拶の後、14年度運営委員の紹介があった。なお、役割分担は以下のとおり。

部会長	朽山 修	東北大学
副部会長	村岡 進	核物質管理センター
企画	山本正史	原子力環境整備促進・資金管理センター
企画	池田孝夫	日揮
庶務	峯尾英章	日本原子力研究所
庶務	櫻井英行	清水建設
出版	内田雅大	核燃料サイクル開発機構
出版	津島 悟	東京大学
広報・会計	坂本義昭	日本原子力研究所
広報	加藤和之	東京電力
会計	天川正士	電力中央研究所

以上
